

「チェック（C）から始める カリキュラム・マネジメント」評価シート

所属	氏名
----	----

※本評価シートは、「カリキュラム・マネジメント指導者養成研修（中央研修）」で紹介された評価方法を参考にして作成しています。開会前にご記入ください。

評価要素	項目 (カリキュラム・マネジメントの基本的な実践内容)	評価 (あてはまる番号に○)			
		◎ とても	○ やや	△ あまり	▲ 全く
ア 教科等横断的な資質・能力	1. 大方の教職員は、学校経営の重点や研究主等について計画書を見ないでも説明できる。	4	3	2	1
イ PDCA (P 計画)	2. 各学年・各教科等で育成したい資質・能力の相互関連を分かりやすく示した図や表が作成されている。	4	3	2	1
(D 実施)	3. 大方の職員は、経営の重点や研究主題に迫る資質・能力の育成を意識して日々の授業を行っていると感じる。	4	3	2	1
(C 評価)	4. 日々の授業における成果や課題を児童生徒の姿で評価し、改善策を「見える化」する時間を設けている。	4	3	2	1
(A 改善)	5. 大方の職員は、学期末評価や事後研で出た改善策を日常の授業に積極的に生かしていると感じる。	4	3	2	1
ウ 人的・物的資源	6. 全職員、保護者、地域が目標に向けたビジョンを共有して、支え合う学校組織、時間確保などの環境整備が為されている。	4	3	2	1

自校の課題を具体的にご記入ください。

チェックシート

所属	氏名
----	----

	項 目	評価 (あてはまる番号に○)			
		◎ とても	○ やや	△ あまり	▲ 全く
PDCA サイクル	前年度までの学校研究の成果を受けて研究主題を設定する際に、全職員で話し合いをしたり吟味したりしている。	4	3	2	1
目指す姿の共有	学校教育目標を受けて「学校全体で育成を目指す資質・能力」を具体的に設定し、全職員で共有している。	4	3	2	1
	学校研究主題や研究の視点を受けて、各自が自分のテーマや課題を設定している。	4	3	2	1
学びの蓄積	年間を通して実施する授業研究会を「日常の授業改善」につなげるために、各回のねらいや位置付けを明確にし、全職員で共有している。	4	3	2	1
	提案授業の成果と課題を受けて、全職員が日々の授業で取り組むことを明確にして、実践しようとしている。	4	3	2	1
	提案授業の成果と課題を、全職員が日々の授業改善に生かすことができるような工夫を行っている。	4	3	2	1
	研究の目的に合わせた授業記録の取り方を全職員で共有し、効果的に活用している。	4	3	2	1
適切な評価	研究主題に合わせて、授業評価の焦点化を図っている。	4	3	2	1
	授業評価を行うための観点や手法を全職員で共有している。	4	3	2	1
	児童生徒による授業評価を活用し、研究の見直しを行っている。	4	3	2	1
	研究の成果や課題を、各学期等の短いスパンで定期的に確認し、見直しや修正を図っている。	4	3	2	1
校内体制	事前の協力体制が整っており、校内で役割を分担して授業研究会を運営している。	4	3	2	1
	年間を通して、学校研究の成果や課題について全職員で共有し、研究だよりや研究紀要の作成にも全職員が関わっている。	4	3	2	1

【所属校のよさや課題】